

平成 30 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績を踏まえ、平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

- (1) 平成 30 年 3 月期連結業績予想数値の修正
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	773	△116	△122	△128	△17 円 25 銭
今回修正予想 (B)	745	△70	△75	△78	△10 円 39 銭
増減額 (B－A)	△28	+46	+47	+50	
増減率 (%)	△3.6	-	-	-	
前期実績 (C) (平成 29 年 3 月期)	741	△1,156	△1,170	△2,094	△287 円 52 銭
増減額 (B－C)	+4	+1,086	+1,095	+2,016	

(2) 修正理由

売上高につきましては、診断・試薬事業においては、当社の主力製品である抗体関連試薬の販売や受託サービスの売上高が、国内外ともに順調に推移した結果、前年に比べ大幅に増加し、計画通り達成することが出来る見込みです。また、医薬用関連においても、自社製造の動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キットの売上が前年に比べ大幅に増加し、計画通り達成することが出来る見込みです。

遺伝子組換えカイコ事業においては、製品の販売が想定より少なかったことや、前年に計上した共同研究契約先からの契約金収入などの計上がなかったため、前年同期に比べ大幅に減少し、計画においても減少致しました。

また、検査事業においては、国内大型案件の受注が想定より遅れたため、計画に比べ減少する見込みです。さらに、化粧品関連事業においては、海外展開が順調に推移しておりますが、国内通販売上が計画に比べ減少致しました。その結果、前年に比べ売上は増加しておりますが、計画においては、減少する見込みです。

利益面においては、前期末に計上した減損や一括償却の影響により当期において減価償却費負担が軽減されたこと、また当期において設備投資を控えたこと、さらに、自社製品の販売の割合が増加したこと等により、大幅に利益を改善することが出来ました。

(注) 上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以上